

東彼杵町新庁舎整備に係る基本設計作成等業務委託
第 1 回 東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）
議事要旨

委託者名	東彼杵町		受託者名	株式会社 長大	
件 名	東彼杵町新庁舎整備に係る基本設計作成等業務委託				
出席者 (敬称略)	東彼杵町（HS）	高月総務課長、松添総務課係長		日 時	R6 年 12 月 2 日(月) 14：00～15：30
	長大（C）	岡本、山田、須長（WEB）		場 所	町総合会館
				会議方式	2 階大会議室
議題	1．新庁舎整備に係るこれまでの経過について 2．新庁舎整備に係るこれからのスケジュールについて				
協議資料	新庁舎整備に係るこれまでの経過について（資料 1） 新庁舎整備に係るこれからのスケジュールについて（資料 2）				
受領資料					

■ 議事次第

- 1 開 会
- 2 委嘱書の交付
- 3 町長あいさつ
- 4 委員及び事務局紹介
- 5 会長及び副会長の選出
- 6 諮問
- 7 説明事項
 - (1) 新庁舎整備に係るこれまでの経過について (資料 1)
 - (2) 新庁舎整備に係るこれからのスケジュールについて (資料 2)
- 8 その他
 - (1) 第 2 回東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）の開催について
- 9 閉 会

■ 議事要旨

1. 新庁舎整備に係るこれまでの経過について

新庁舎整備に係るこれまでの経過について説明を行った。

以下、議事事項である。

委員：現図書館は縮小の方向とのことだが、庁舎と合築し、現図書館はなくなるということによいか。

事務局：庁舎と合築して図書館を整備するため、現図書館は取り壊すこととなる。

委員：災害対策の拠点として整備するとあるが、ドローンについて触れられていない。将来的にはドローンの活用も視野に入れておくべきであるが、考えを聞かせてほしい。

事務局：ドローンについては職員が研修会に参加し操縦できる人材を育成している。新庁舎は波佐見町消防団が防災の拠点として使えるようにしていきたいと考えており、ドローンについても計画にも反映したい。

委員：河岸浸食区域とは何か。

事務局：資料 1 の現状図に記載しているオレンジのラインの左側が河岸浸食区域である。現図書館の敷地に新庁舎を建設という話もあったが、河岸浸食区域に入っているため体育館の敷地で建設することとなった。

委員：庁舎を木造で建設しても地震や災害時に問題はないか。

事務局：構造体である骨組みを木造とするかはこれから検討を行う。少なくとも仕上げ材では木材を使用したいと考えている。

委員：A～C 案のうち A が芝生の面積が少ないのはなぜか。また、駐車場の台数についてどのように考えているのか。

事務局：A～C 案の基本的な考え方として、来庁者は図面下側の駐車場を利用することを想定している。その駐車場だけで必要な台数が確保できない場合に図面左側を駐車場スペースとして考えている。芝生エリアについては、図書館と連続した賑わいの空間となるように考えて配置している。図書館の上階を設備スペースとしているため、図書館のない A 案は設備スペース分、芝生エリアが小さくなっている。

委員：議会では埼玉県に木造庁舎の視察に行っている。木造でも強度が出る構造とすることで、耐震性は問題ないと考えている。一方で集中豪雨想定し、一階を駐車場にして二階、三階を庁舎にするような案の検討は行ったのか。

事務局：検討を行ったが、経費面で難しいという結果となった。そのため防災倉庫やサーバー室などを二階に設置する計画としている。

委員：事業費を15.9億円としているが、完成が5年後となっている。昨今の建設費の高騰に対してどのように考えているのか。

事務局：資料1に発注方式の検討について記載している。実施設計と施工を一括して発注する方式を考えている。事業者の提案により事業費の縮小を図っていただく方式である。また、建設業の人手不足に対応するため、あらかじめ実施設計と施工に携わる事業者を抑えておくことで、安定的に新庁舎建設ができると考えている。

委員：敷地の安全性が気になっている。本当にこの敷地で大丈夫なのか。敷地自体を検討する余地はないのか。

事務局：敷地のかさ上げはあるとしても、場所については体育館の用地としたい。

2. 新庁舎整備に係るこれからのスケジュールについて

スケジュールについて説明を行った。

以下、議事事項である。

委員：基本設計を行っている期間に概算事業費を算出する期間をもうけなくてもよいのか。

事務局：事業費については基本設計の中で積算を行う予定である。

委員：現在の事業費ではC案は難しいのではないのか。

事務局：現在ABC案のいずれかに決めているわけではない。地区別の町政懇談会の意見も加味し、本懇話会に図っていくことを考えている。

委員：振興懇話会のメンバーとして地域の意見を集めるためにどのような対応をすればいいのか。

事務局：町政懇談会の意見を集約して本懇話会でお示しする。その結果を確認しご意見をいただきたい。

委員：町民に開かれたと庁舎いう方針について、図書館が5時に締まるのは早いのではないのか。図書館の閉館時間の調整などのソフト面についても今後議論をしていきたい。

事務局：庁舎の開庁時間終了後も図書館は開館できるように管理区分を分けて、個別に運営できるようなプランを検討中である。

委員：結局は事業費がすべてを決めることになるのではないのか。その場合は最終的にA案になりそう。現在想定している倍くらいの事業費となるのではないのか。

事務局：事業費については近年の先進事例をもとに18億円と想定している。一方で建設コストの高騰についても配慮が必要だと考えている。

事務局：昨年度までの検討では、JBCIという一般財団法人建設物価調査会が運営する建築費の価格情報サービスをもとに試算を行ってきた。今後の建設コストは不透明なため、実勢価格に置き換えてコストシミュレーションを行ってきたい。

3. 第2回東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）の開催について

事務局：次回は3月を想定している。町政懇談会の途中経過をまとめ、事前に議事内容を皆様に送付させていただく。

以上